愛媛新聞創刊130周年記念広告特集
発信！えひめの元気力 4
愛媛新聞社ホームページの企画サイトでもご覧いただけます。
http://www.ehime-np.co.jp

地域と歩み95年
1300棟の信頼築く
きょう会社設立50年

「満足していただこう。信頼していただこう」を経営理念に掲げて事業を展開し、県都・松山市の老舗（しにせ）総合建設会社として知られる門屋組（門屋齊社長）。一九一〇（明治四十三）年一月十日の創業から九十五年。きょう十月十日、株式会社に組織変更して、ちょうど五十年の節目を迎える。

同社は、門屋社長の祖父・留一郎氏が松山市谷町で木造建築の請負業として創業。今もその名前は、社章「マル留」に大切に受け継がれている。戦前には、旧松山中学（現松山東高）の講堂や明教館（移築）のほか、城郭を模した旧松山警察署（現松山東署）、旧制新田中学（現新田高）本館、旧国立愛媛療養所（現国立病院機構愛媛病院）といった、県民ゆかりの歴史ある建造物を数多く手掛けた。戦後は、公共的な建造物の受注も数多く引き受け、松山を代表する総合建設会社へと成長していった。

株式会社門屋組　門屋 齊社長

大規模施設から病院、住宅まで幅広く受注

五五年の株式会社化から、これまでに手掛けた物件は新築・増築合わせて十三百棟を超える。六一年には同市堀之内の松山市営プールを建設。クレーンや生コン機械、測量器といった、現在のような高度な機器がない中で、五十メートルの誤差二㌢以内という厳しい条件をクリアした仕事ぶりや逃げたという実績を持つ。

現在は、スーパーや企業の製造工場など大規模なものから、地元企業の社屋や店舗、個人の住宅まで幅広く請け負っている。中でも医療機関の建設は、病院・医院を中心に八十棟を超えており、その施工の信頼性を裏付けている。門屋社長は「お客さんは形の無い状態で、契約してくれる。その値段が高いのか安いのか、分からない人も多いだろう。その中で当社を選んでもらうのは、これまで積み重ねてきた実績や人間関係から培われてきた信頼関係があってこそ」と自負している。

人と技術を生かす職場づくり

「人材育成には時間も費用も惜しまない」のが同社の姿勢だ。「いかに技術が進歩しても、工事をするのは人。競争の中で生き残るには、得意な分野・工事で優位に立つよう、施工技術や管理技術を向上させなければ。そのためには、何といっても教育的な職場風土をつくることに尽きる」と同社長。その言葉通り、社内には社員が資格を取りやすいように「資格奨励制度」という仕組みがある。例えば、一級建築士なら二回まで、受験費用や専門学校受講料など資格取得に掛かる費用を会社が負担するというものだ。「事業の永続性は人にある。社員の意識や行動を変えなければ会社は変わらない。目に見えない社員の対応力の差が、企業の優劣を決めることになる」と強調する。

同社では、品質管理の国際規格ISO9001も取得している。「これまでもいい品質を心掛けて事業に取り組んできたが、大手や同業他社に負けないよう、これまで以上に技術力を売っていかなければいけない」。

「おかげさまで」の気持ち大切に

地域とともに成長してきた同社。いつも「おかげさまで」という感謝の気持ちを忘れない。ことしの創立五十周年に合わせてこのほど、日本赤十字社県支部と県社会福祉協議会に計百万円を寄付した。創立記念の式典を実施する代わりに、その費用を日ごろお世話になっている地域に役立ててもらおうという考えからだ。

門屋齊氏は五七年、二十五歳の若さで社長に就任した。当時の社員は十人程度だった。苦しい船出ではあったが、「いい品質を心掛けて、ただがむしゃらにやってきた」。そこには「地域の誰からも認められる存在感のある会社にしたい」という強い気持ちがあった。

建設業界は競争激化や長引く景気の低迷を受けて、厳しい環境にある。その中で「いい物を安く早くつくる。この古くて新しいテーマを鮮明に打ち出すことで、道は開けると確信している」と同社長。二〇一〇年には創業百周年を迎える。「おかげさまで」という気持ちを大切にして、「足元を見つめて、今できることは何かを探りながら事業に取り組みたい」と決意を新たにしている。

門屋組本社。マル留の社章が目を引く

道後山・善明寺（松山市祝谷町）解体時に見つかった留一郎氏の名が書かれた棟木

総合建設業
株式会社 門屋組
本社所在地／〒791-8011 松山市吉藤3丁目2-1
TEL089(924)8771 FAX089(923)5223
広島支店／〒730-0825 広島市中区光南1丁目16-11
TEL082(542)5354 FAX082(243)1832
代表者／代表取締役社長 門屋 齊

門屋組が手掛けた「バルティフジ東予－西条市国安」

満足していただこう。信頼していただこう。　株式会社 門屋組

真光園（平成４年）

ミウラートヴィレッジ（平成９年）

伊予銀行 松前支店（平成11年）

はなレディースクリニック（平成17年）

愛光学園 図書館（平成５年）

済美平成校（JV）（平成10年）

徳丸小児科（平成17年）

MMCフレンド（平成17年）